

KRPeople ●ここにこの人

KRPeopleはKRPエリアを拠点に活躍するすべての人、その意外な素顔に迫ります。

こうもと ひろき

財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM棟) ●産学連携事業部 部長 孝本 浩基さん



1962年兵庫県出身。名古屋の大学で経済学を学び、教員免許を取得、教育に関わる仕事を志す。大学在学中から塾の講師を務め、中高生に勉強を教えるとともにマネジメントも経験。その後、(株)京都ソフトウェアを経て(財)京都高度技術研究所へ。現在は人材育成をはじめとする産学連携業務に携わっている。

産学連携は(財)京都高度技術研究所の重要な業務のひとつ。これをより多く実現させるため、孝本さんは日々奔走しています。もともと教育者であった孝本さんは、現在も小中高生を対象にしたアントレプレナーシップ教育から、早期工学人材育成や団塊の世代を対象としたシニア人材育成などの事業に幅広く携わっています。また、大学をはじめとする研究機関等の研究シーズを、事業化するための橋渡し役も担っています。「私たちの最大のテーマは論理的思考にデザイナ的思考を加味して、イノベーション創出、つまり社会変革を起こせる人材を育成することだと考えます。具体的には産学との連携をはかりながら、ICTやナノテク、バイオの分野における研究シーズの事業化を支援するのです。これが大きなプロジェクトになると、内部はもちろん、行政と大学、大学と企業など、さまざまな調整で難しい局面に行き当たることがあって大変ですが、うまくい

た時、支援した相手が喜ぶ顔を見れば、それだけで嬉しくなります」。その仕事はまさにダイヤの原石を見つけ出し、磨きをかけていくようなものです。

そんな孝本さんの昔の夢はペンション経営だったそうです。大学時代からスキーが大好きで白馬村のすべてのゲレンデを制覇していた孝本さんがいつもお世話になっていたペンションがありました。そのオーナーからペンション経営について教えてもらったことがあるそうです。「坂本龍馬が“自分がやりたいことは晩年になってみつかると言っていたそうです。私もいつかは海外とかでB&B(朝食付きの宿泊施設)ができればいいですね」と笑顔で語ってくれました。

かわもと あきひろ

株式会社フューチャースピリッツ (6号館3F) ●京都本社 Webプロデュース事業部 マネージャー 河本 暁宏さん

「実は大学時代までPCをまったく触らなかったんですよ。DOS-Vコンピュータのシャットダウンのしかたすらわからなかったぐらいで…」と話す河本さんは、大学卒業後に入社した大手SI企業の開発部に配属になったことをキッカケに、プログラムの技術を身につけていきました。当初は3年でうまくいかなかったら辞めようと思っていた仕事も、気づけば5年経ち、仕事の面白さに目覚めたのです。「プログラムの世界は“自分が手掛けたプログラムが動くか動かないか”、“お客さまが使ってどう感じておられるか”など、投げたものが確実に返ってくるものです。だからこそ、ユーザの声がモチベーションになって、続けられるのだと思います」。その後は、元技術者である社長の谷孝さんが主張する「ものづくりの楽しさ」に共感して(株)フューチャースピリッツに入社。管理業務が中心になった今も自ら設計やプログラム、テストに携わることもあるそうです。

「プログラム受託業務は“動く”、“壊れない”、“安心して使える”というのが鉄則。当社のような若い企業であっても、そこはシビアでないといけません」。リーダーとして、時には厳しく後進メンバーの指導にあたることもしばしばだとか。

「楽しむはずの読書やスポーツもついノルマを課して達成感を追求してしまう」という河本さんの息抜きであり、唯一の趣味といえるのは温泉めぐり。「関東に居たときは名湯100選に選ばれるような温泉にはすべて行きました。いつもひとりで3時間ぐらい温泉で過ごすんです。すると、お年寄りからよく声をかけられて…。伊香保温泉に行った時は、農家でご飯までいただいたこともあります(笑)」。仕事への真摯な姿勢と、プライベートをのんびり楽しむメリハリあるライフスタイルが、河本さんの元気の源かもしれません。



1973年、京都市出身。大阪の大学で経営工学を学んだ後、95年に大手SI企業に入社。開発部に配属となり、そこからプログラマーの経験を積む。その後、「ものづくりの楽しさ」に共感し、2005年に(株)フューチャースピリッツに入社。Webプロデュース事業部の管理・統括にあたっている。